

市町村名		渡嘉敷村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-①	渡嘉敷村観光総合推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)
事業内容	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人観光客の受入体制の整備を行う。(この事業は、平成28年度の「渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業」及び「渡嘉敷村観光受入整備対応事業」と「渡嘉敷村観光実施計画策定事業」を統合した事業である。)					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		73,734	48,829			
		55,620	42,981			
		▲ 18,114	▲ 5,848			
		-	-			
		55,620	42,981			
		51,587	41,889			
		41,269	33,511			
		0	0			
		92.7%	97.5%			
予算の状況の説明	当初、臨時職員(多言語対応)の配置を計画していたが、事業計画の見直しにより減額した。また観光PRイベントの参加人数及び回数を変更したことにより予算5,848千円を減額した。不用額1,092千円については委託の入札残や旅費の精算などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	制作配布PRツール作成・配布 渡嘉敷島MAP(日本語):60,000部・(多言語版):20,000部、ガイドブック:15,000部、PP袋:20,000部、PRうちわ:20,000部、ポストカード:100,000枚	目標	( 実施 )	( 実施 )	( )	( )
		実績	実施	実施		
	PR活動への地域事業者派遣:7人	目標	( 2人派遣 )	( 7人派遣 )	( )	( )
		実績	2人派遣	4人派遣		
	広告掲載(沖縄・離島情報):20万部	目標	( 20万部 )	( 20万部 )	( )	( )
		実績	20万部	20万部		
	外国語スタッフの配置:3人	目標	( 2名 )	( 3名 )	( )	( )
		実績	1名	1人		
多言語観光案内サイン版制作:5基	目標	( )	( 5基 )	( )	( )	
	実績		5基			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作配布PRツール:PRツールについては、渡嘉敷島MAP(日本語)50,000部、渡嘉敷島MAP(多言語)15,000部、ガイドブック15,000部、PP袋20,000部、PRうちわ5,000部、ポストカード100,000枚を作成し県外イベント8件・県内イベント2件へ参加しPR活動を行った。</li> <li>PR活動への地域事業者派遣:東京で開催されたマリンダイビングフェアへ地元事業者からインストラクターを含む3名を派遣し、専門的できめ細かなPR案内を行った。また、県外(山梨県・群馬県)マラソン大会へ1名を派遣し、とかしきマラソンのPR案内を行った。</li> <li>広告掲載(沖縄・離島情報):「沖縄・離島情報」へ広告を掲載し、20万部を発行した。</li> <li>外国語スタッフの配置:3名の配置を予定していたが、業務内容を調整し1人(11ヶ月間)配置した。</li> <li>多言語観光案内サイン版制作:村内各所に多言語による観光案内サイン版を5基設置し、外国人観光客への受入体制の強化を行った。</li> </ul>					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (24年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)	
	・年間入域客数:132,000人	目標	(109,578)	(132,000)	( )	( )	( )	( )
		実績		144,000				
	・年間入域観光客数 136,769人以上	目標	(109,578)	( )	(136,769)	( )	( )	( )
		実績			133,138			
	・外国人観光客数 28,600人以上	目標	( )	( )	(28,600)	( )	( )	( )
		実績			19,723			
【参考指標】 年間入域観光客数 実績	目標	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	実績			144,167	133,138			
進捗状況説明	・年間入域観光客数については、前年度から11,000人減少し、目標にわずかに届かなかった。月別比較では、4月・5月及び11月、平成31年2月・3月の5カ月間は、前年同月に対して増加したが、夏季期間を含む7カ月間は減少した。							

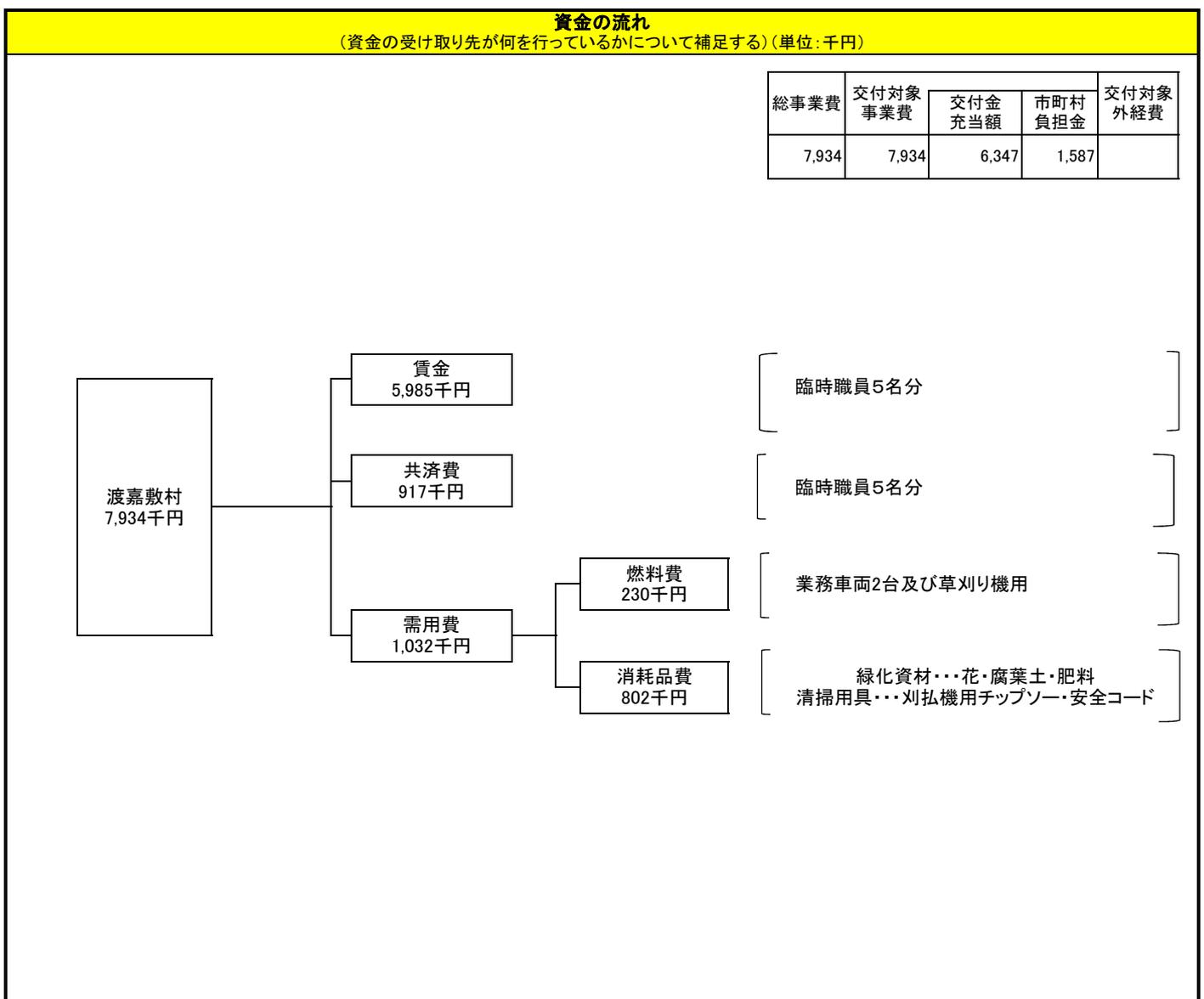
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(年間入域観光客数・外国人観光客数) ・目標に届かなかった原因として、台風の影響による天候不良及び船舶欠航が考えられる。	(年間入域観光客数・外国人観光客数) ・夏季期間に特化した誘客施策から、台風の影響の少ない冬季期間、悪天候時にも対応できる観光メニューを充実させ、情報発信を強化することで、入域観光客数の増に繋げる。
<b>今後の取り組み方針</b>		
(年間入域観光客数・外国人観光客数) ・引き続き多様なメニュー開発に取り組むとともに、開発した観光メニューの活用に向けて、県外イベントでのPRや村及び観光協会HPでの情報発信を強化する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	41,889	41,889	33,511	8,378	0
渡嘉敷村 41,889千円	旅費 1,310千円	職員771千円 臨時職員等539千円	県内、県外イベントPR活動にかかる旅費		
	広告料 406千円	(株)林檎プロモーション406千円	雑誌「沖縄・離島情報」への広告掲載		
	委託料 39,762千円	(株)ライブス8,740千円 (株)ルーモス25,080千円 (株)琉球新報開発5,942千円	・渡嘉敷村観光協会整備委託業務 ・渡嘉敷村観光誘客受入強化委託業務 ・労働者派遣個別契約委託業務		
	使用料 411千円	(株)水中造形センター411千円	マリンダイビングフェア出展料		

使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり、ほぼ妥当な予算規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	渡嘉敷村美化清掃事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び植栽を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	11,303	9,680	9,680	9,680	9,790
	(b) 予算現額	11,303	8,962	8,144	9,680	9,790	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 718	▲ 1,536	0	0	
	(d) 繰越額	—	0	0			
	A. 計(b+d)	11,303	8,962	8,144	9,680	9,790	
	B. 執行済額	7,467	8,962	7,513	8,452	7,934	
	うち交付金充当額	5,974	7,170	6,009	6,761	6,347	
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	66.1%	100.0%	92.3%	87.3%	81.0%	
予算の状況の説明	美化清掃員の体調不良及び天候不良等により植栽作業の時間が減少し、賃金1,575千円、共済費134千円、油脂燃料費76千円、緑化資材費712千円、計1,856千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	花木植栽8箇所実施	目標	( 8箇所 )	( 8箇所 )	( 花木植栽8箇所 )	( 花木植栽8箇所 )	
		実績	8箇所	8箇所	花木植栽8箇所	花木植栽8箇所	
	美化清掃8箇所実施	目標	( 8箇所 )	( 8箇所 )	( 美化清掃8箇所 )	( 美化清掃8箇所 )	
		実績	8箇所	8箇所	美化清掃8箇所	美化清掃8箇所	
達成状況説明	観光客が利用する公共施設や展望所等8箇所(渡嘉敷港旅客待合所、港の見える丘展望台、アラン展望台、前岳林道東屋、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地、渡嘉志久海岸公園)を対象に、公衆トイレ及び施設等の清掃作業、施設周辺の除草・植栽作業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( )	( )	( 80%以上 )
		実績			87%		
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆トイレや園地の清掃・除草作業を本年実施したことで、環境整備の行き届いた魅力的な観光地としての景観を維持することができた。</li> <li>・観光客を対象としたアンケートの結果、本事業該当8箇所において「きれい」にされていた」と回答した割合は87%だった。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・美化清掃員に欠員が出たことから、活動内容に変更が生じ、花木植栽活動の実施に苦慮した。	・通年を通して、人材を確保する必要がある。
<b>今後の取り組み方針</b>		
・地域住民に美化清掃事業の周知を行い、人材の確保に努める。		



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内において公募により採用しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○天候不良等による作業時間の減少に伴う減額が発生したが、予算規模は適正だったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	渡嘉敷村観光施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	観光客等利用者の利便性の向上を図るため、渡嘉敷村青少年旅行村多目的広場及び渡嘉志久トイレシャワー施設の機能強化を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	23,720	14,430	22,000	0	64,562
		(b)予算現額	23,720	14,276	5,076	0	30,240
		(c)増減額(b-a)	0	▲154	▲16,924	0	▲34,322
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		23,720	14,276	5,076	0	30,240
	B. 執行済額		7,302	14,276	5,076	0	30,240
	うち交付金充当額		5,842	11,362	4,060	0	24,192
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		30.8%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		当初、渡嘉敷村青少年旅行村施設管理棟施設の機能強化を予定していたが、3月補正で当該工事分の予算34,320千円を減額した。最終予算については、事業計画どおり執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①渡嘉志久トイレ・シャワー施設機能強化工事 ・洗浄便座設置、男女シャワー水栓増設、屋根・外壁・内壁等の改修	目標	洗浄便座設置、男女シャワー水栓増設、屋根・外壁・内壁等の改修	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績	洗浄便座設置、男女シャワー水栓増設、屋根・外壁・内壁等の改修				
	②多目的広場施設の機能強化工事 ・ステージの屋根及び照明設備の設置	目標	ステージの屋根及び照明設備の設置	(      )	(      )	(      )	(      )
実績		ステージの屋根及び照明設備の設置					
達成状況説明	渡嘉志久トイレ・シャワー施設機能強化工事について、洗浄便座2基設置、男女シャワー水栓増設、屋根・外壁・内壁等を改修した。 多目的広場施設の機能強化工事について、屋外ステージの屋根及び照明12基を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	渡嘉志久トイレ・シャワー改修工事の完了	目標	(      )	(完了)	(      )	(      )	(      )
		実績		完了			
	多目的広場施設の機能強化工事の完了	目標	(      )	(完了)	(      )	(      )	(      )
		実績		完了			
進捗状況説明	各工事については、計画どおり完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(渡嘉志久トイレ・シャワー改修工事・多目的広場施設の機能強化工事) ・計画通り、整備を完了し、利用者の利便性を高めることで観光客の受入体制が整ったと考える。今後はどの程度利便性が確保されたかや、多目的広場施設を利用したイベント来場者数を確認するなどして本事業の効果測定を行う必要がある。	(渡嘉志久トイレ・シャワー改修工事・多目的広場施設の機能強化工事) ・整備が完了した施設について、どの程度利便性が確保されたかアンケートにより検証する必要がある。

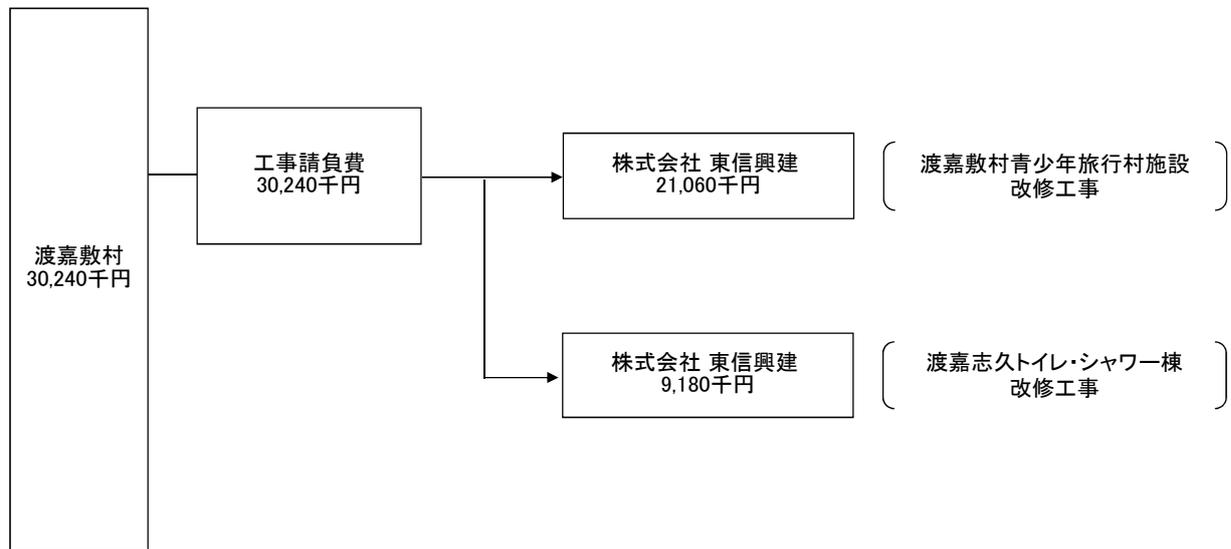
**今後の取り組み方針**

(渡嘉志久トイレ・シャワー改修工事)  
・アンケート結果による課題を整理し、適宜整備を行うことで、更なる利便性向上を図る。

(多目的広場施設の機能強化工事)  
・施設の機能強化について、イベント主催者等に情報発信を強化し、通年を通じた利用率の向上を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
30,240	30,240	24,192	6,048	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率は100%であり、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	渡嘉敷村観光振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	修学旅行の誘致を図るため、修学旅行誘致・受入活動に取り組む村商工会の活動を支援する。 (この事業は、平成28年度の「渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業」から分離した事業である。)						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	8,800	8,800			
	(b) 予算現額	8,800	7,200				
	(c) 増減額(b-a)	0	▲1,600				
	(d) 繰越額	-	-				
	A. 計(b+d)	8,800	7,200				
	B. 執行済額	8,800	6,119				
	うち交付金充当額	7,040	4,895				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	85.0%				
予算の状況の説明	当初、出展を予定していた観光イベントへの参加を見直したことにより、予算1,600千円を減額した。不用額1,081千円については、村商工会が行う修学旅行誘致・受入事業の規模縮小により、実績額が縮小したことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	修学旅行誘致活動(県外旅行社17社及び高等学校3校訪問)(関東・関西での修学旅行フェア出展)	目標	( )	( 17社・3校 関東・関西 出展 )	( )	( )	
		実績		17社・2校 関東・関西 出展			
	県外旅行会社招聘2社	目標	( 2社招聘 )	( 2社招聘 )	( )	( )	
実績		2社招聘	1社招聘				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行誘致活動として、旅行社・学校訪問を、目標17社・3校のうち、17社・2校を訪問し誘致活動を行った。また、修学旅行フェア出展については、計画どおり「関東・関西」へ出展し、誘致活動を行った。</li> <li>県外旅行社の招聘については、計画2社のうち、船舶の欠航により1社招聘となった。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 13校 )	( 14校 )	( )	( )
	修学旅行受入対応 14校	実績		13校	13校		
		目標	( )	( 2社招聘 )	( 3社招聘 )	( )	( )
	旅行社招聘 3社	実績		2社招聘	1社招聘		
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行の受入については、県外9校・県内4校、計13校を受入れた。内訳では、天候不良により県外2校が中止、新たに県内1校を受入れた。</li> <li>旅行社の招聘については、受入目標3社のうち、1社受入となり、目標に届かなかった。</li> </ul>					

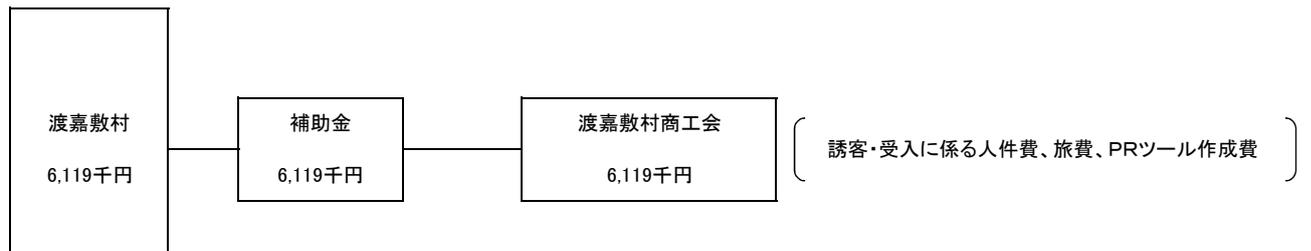
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(修学旅行受入対応について) ・修学旅行受入数の減については、天候不良による船舶欠航等が要因と考えられる。  (旅行社招聘について) ・予定していた旅行社2社の中止については、天候不良が要因と考えられる。	(修学旅行受入対応・旅行社招聘について) ・受入時期の分散や、船舶の運航率による時期の選定などにより、受入数の増に繋げる。

**今後の取り組み方針**

(修学旅行受入対応・旅行社招聘について)  
 ・旅行社の招聘について引き続き実施し、事業者にも本村の魅力を理解してもらうことで、学校等に対する修学旅行の営業活動に役立ててもらう。また、今後は招聘した旅行社への聞き取りを強化し、招聘旅行を通して発見した本村の新たな魅力等を調査し、今後の観光PRへの活用を図る。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,119	6,119	4,895	1,224	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付要綱による商工会であることから、妥当であると考えます。 ○実績報告を精査し妥当な予算規模と考える。 ○費目、使途については補助金交付要綱の目的に即し、必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-⑤	渡嘉敷村観光危機管理計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	安心・安全な観光の提供と、観光ブランドの確立を図るため、村を訪れる観光客への自然災害や人的災害などが発生した際の対応を定めた「渡嘉敷村観光危機管理計画」を策定する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度			
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		8,694			
			8,424			
			▲ 270	0	0	0
			-			
			8,424	0	0	0
		B. 執行済額	8,424			
		うち交付金充当額	6,739			
		次年度繰越額	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	・入札執行残により270千円減額した。 ・最終予算については、事業計画どおり執行した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度			
	・観光危機管理計画書の策定	目標 (      策定      )	(      )	(      )	(      )	
	実績	策定				
達成状況説明	・観光客への自然災害や人的災害などが発生した際の対応を定めた「渡嘉敷村観光危機管理計画」を策定した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	・観光危機管理計画書の策定完了	目標	(      )	( 完了 )	(      )	(      )
		実績		完了		
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績				
進捗状況説明	・観光危機管理計画書の策定については、計画どおり完了した。 ・事業の完了年月日は平成31年3月となった。					

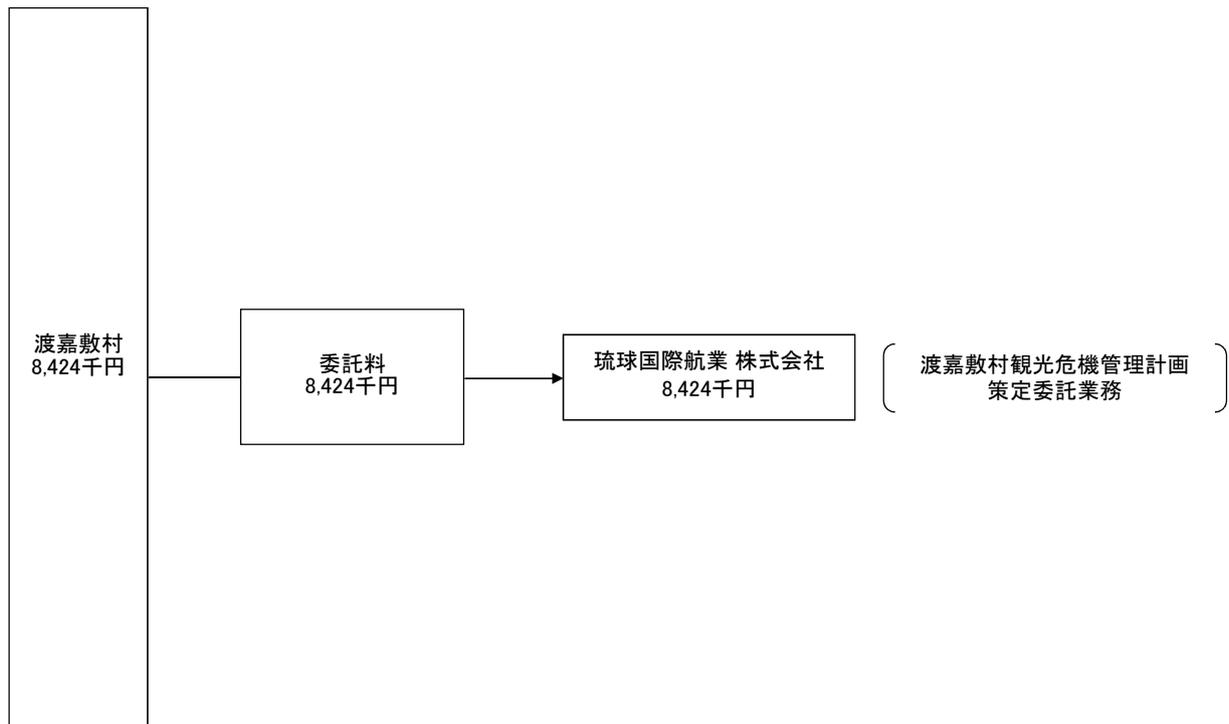
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(観光危機管理計画書の策定完了について) ・観光危機管理計画の成果について、実際に災害が発生しない限り検証ができない。 ・災害発生時に、当該計画を活用し、観光客の安全を確保することができる段階には至っていない。	(観光危機管理計画書の策定完了について) ・観光危機管理計画を活用し、災害時を想定した避難訓練を実施する。その検証を行うことで、観光客の安全性確保に繋げる。 ・観光関連事業者に、災害発生時には当該計画を活用できるよう危機管理について理解してもらう。

**今後の取り組み方針**

(観光危機管理計画書の策定完了について)  
 ・観光関連事業者に、平常時の情報発信から災害時の意思決定・行動に活かせるように、当該計画を活用し避難訓練を実施する。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,424	8,424	6,739	1,685	0

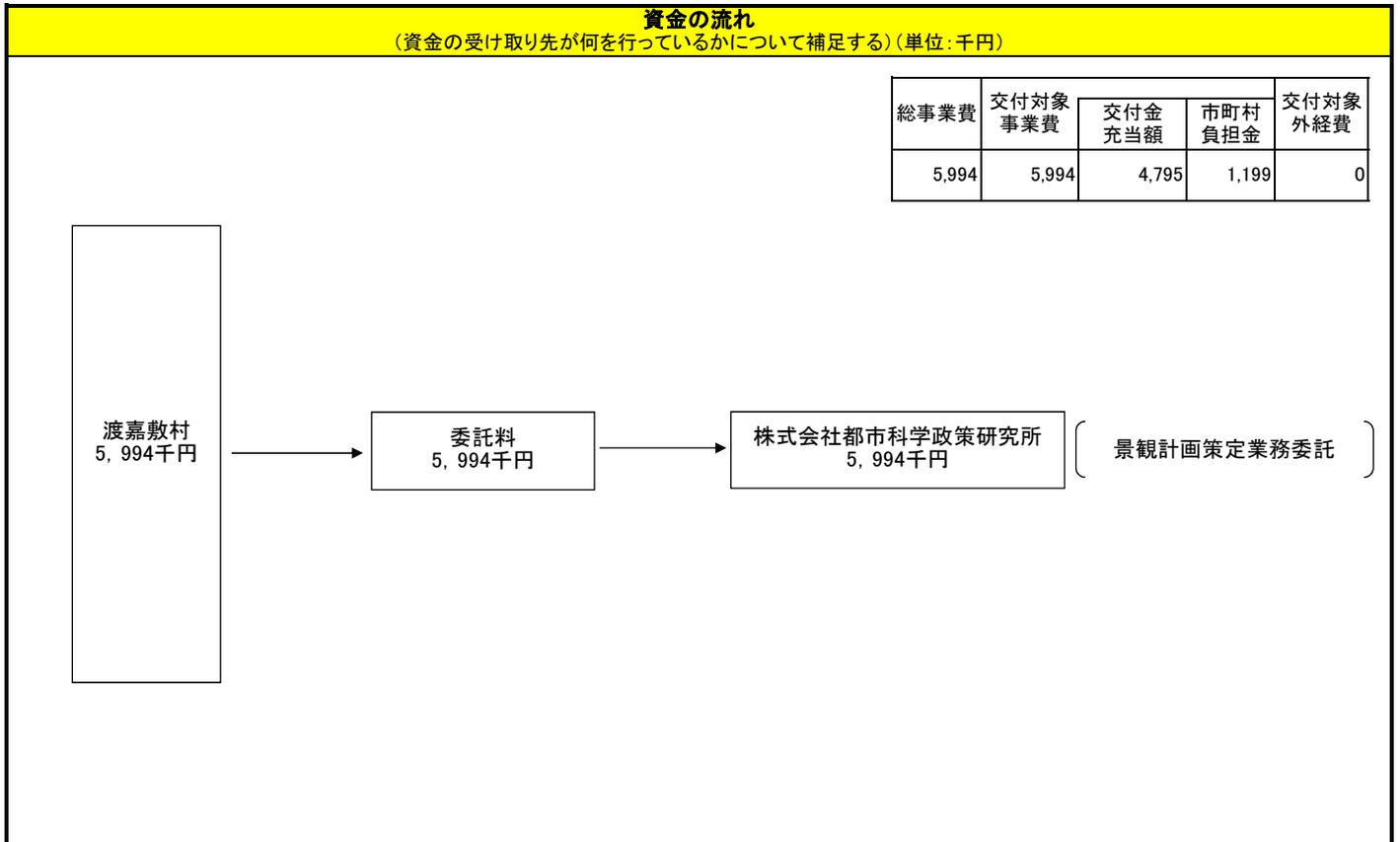


資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は100%であり、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	渡嘉敷村景観計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア			
担当部課名	経済建設課	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり			
事業内容	観光地として本村の豊かな景観資源の維持・保全を図るため、景観計画を策定する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		
		(a)当初予算額	5,400	6,156				
		(b)予算現額	3,132	5,994				
		(c)増減額(b-a)	▲2,268	▲162				
		(d)繰越額	0	0				
		A.計(b+d)	3,132	5,994				
		B.執行済額	3,132	5,994				
		うち交付金充当額	2,505	4,795				
		次年度繰越額	0	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%				
予算の状況の説明		3月補正にて、入札執行残162千円を減額した。最終予算については、事業計画通り執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況						
		H29年度	H30年度	R1年度				
	景観計画策定に向けた策定調査の完了	目標	( 実施 )	( )	( )	( )		
		実績	実施					
	策定調査業務の実施	目標	( )	( 実施 )	( )	( )		
		実績		実施				
	住民ワークショップの開催2回	目標	( )	( 2回 )	( )	( )		
		実績		2回				
	瓦版の作成2回	目標	( )	( 2回 )	( )	( )		
		実績		1回				
庁内会議開催の支援	目標	( )	( 実施 )	( )	( )			
	実績		実施					
パブリックコメントの実施	目標	( )	( 実施 )	( )	( )			
	実績		未実施					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメントは、村民意向をはじめ、庁内会議や策定委員会での協議を十分に踏まえた上で実施することが望ましい事から次年度での検討とした。</li> <li>目標どおり、景観計画(案)を作成し達成できた。</li> </ul>							

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (R2年度)
	景観計画策定に向けた調査業務の完了	目標	( )	( 基礎調査 の完了 )	( 調査業務 の完了 )	( )	( )
		実績			基礎調査 の完了	調査業務の完了	
	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られ たか(80%以上)を含め、観光客や村民等 へのアンケートにより、本事業のあり方につ いて検証する。	目標	( )	( )	( )	( )	( 80% )
実績							
進捗 状況 説明	・住民との勉強会及び意見交換会を実施(2地区)した。検討委員会及び策定委員会を実施。渡嘉敷村景観計画(案)を作成。						

取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		・住民との勉強会及び意見交換会の実施にあたり、台風の影響や実施時期について観光シーズンを避けて欲しいとの要望があった。
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民との勉強会及び意見交換会の開催日時期については、事業行程表等作成の段階で観光シーズン及び台風発生時期を避けた日程調整を行う。</li> <li>・景観行政団体移行業務及び景観計画の完了に向けた検討委員会・策定委員会の実施。</li> </ul>		



資金 の 流れ、 費用 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は仕様書通りで適正な規模だと考えている。 ○費目・使途については完了検査を実施しており、目的に則し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-3-(11)-ア			
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成28~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減			
事業内容	船舶に係る輸送経費の補助を行い沖縄本島との販売価格差が大きくなならないよう維持するため、小売店における輸送経費の補助を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度		H29年度		H30年度		
		(a) 当初予算額	2,155	2,442	2,442	2,333		
		(b) 予算現額	2,104	2,442	2,023			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 51	0	▲ 310			
		(d) 繰越額	0	0	0			
		A. 計(b+d)	2,104	2,442	2,023			
	B. 執行済額		2,104	2,252	2,023			
	うち交付金充当額		1,683	1,802	1,618			
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	92.2%	100.0%			
予算の状況の説明		予算については、県と連携をとり過去の実績を参考にした。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度			
	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保険医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	目標	( 支援の実施3店舗 )	( 支援の実施3店舗 )	( 支援の実施3店舗 )			
		実績	支援の実施3店舗	支援の実施3店舗	支援の実施3店舗			
			目標	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	本事業に登録された村内3店舗にて、食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保険医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (年度)	
	生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-1.4ポイント以下)	目標	( 125 )	( 沖縄本島との価格差の縮小 )	( 沖縄本島との価格差の縮小 )	( -1.4ポイント以下 )	( )	
		実績		沖縄本島との価格差の縮小	沖縄本島との価格差の縮小	-4ポイント		
	[参考指標] H27指標 125 (事業実施前)		目標	( 125 )	( )	( )	( )	
			実績		124	115	121	
進捗状況説明	沖縄本島から渡嘉敷島へ輸送される生活必需品等の輸送経費等の支援により生活コストの低減を図った結果、沖縄本島と本村の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指標)は事業実施前の平成27年度(125)と比べて平成30年度は(121)となり-4ポイント分価格差が縮小された。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業により、本島との価格差の縮小はされてきているが、村民の認知度・実感がまだまだ低い様に思われる。また、登録事業者が「効果がみられない」と回答している。	村民への継続的な周知活動と、登録事業者との本事業におけるメリット・デメリット等の検証が必要と思われる。
今後の取り組み方針		
登録事業者と連携し、期間限定での「還元セール」の実施を検討する。その際に掲示物やポップなどを活用し本事業の周知にもつなげる。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,023	2,023	1,618	405	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、船舶課のみとなるため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、妥当と考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、貨物運賃を適正に支援しているため妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		渡嘉敷村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-②	自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-3-(11)-ア
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9
事業内容	渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(a) 当初予算額	1,486	3,056	3,056	
	(b) 予算現額	3,215	4,066	4,564		
	(c) 増減額(b-a)	1,729	1,010	1,508		
	(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計(b+d)	3,215	4,066	4,564		
	B. 執行済額	3,215	4,066	4,564		
	うち交付金充当額	2,572	3,253	3,651		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	平成29年度の実績より利用予定台数を設定したが、利用者が多く当初予算を上回ることが予想され補正増額をおこなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	年間自動車航送台数 自動車(二輪も含め) 400台	目標	( 200 )	( 400 )	( 400 )	(      )
		実績	311	433	623	
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績					
達成状況説明	年々、利用者が増え 目標台数を大きく上回る結果となった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		目標	(      )	(      )	(      )	( 80%以上 )
	実績				100%	
	【参考指標】 自動車航送台数(H28～H29)	目標	(      )	( 全200台 )	( 全400台 )	
実績		全429台	全557台	全623台		
進捗状況説明	本年度より利用者アンケートを実施し本事業についての満足度等を図ったところ、多くの住民が「満足している」と答えが得られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アンケート調査の結果満足との回答が多かった、特に利用目的が多かった回答は「本島での買い物等」次に、「通院等」の回答が多くみられた。	年々、利用台数が増えているため見込台数の検証が必要。
今後の取り組み方針		
今後も、住民が沖縄本島へ移動しやすい環境を維持していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,564	4,564	3,651	913	0
<pre> graph LR     A[渡嘉敷村 [一般会計] 4,564千円] --- B[補助金 4,564千円]     B ==&gt; C[渡嘉敷村 [航路事業特別会計] 4,564千円]     subgraph D [ ]         C     end     D --- E[車両航送費を 半額補助 (のべ623台)]           </pre>				

資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、渡嘉敷村役場船舶課のみとなるため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、妥当と考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、貨物運賃を適正に支援しているため妥当と考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		渡嘉敷村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	(b) 予算現額	3,300	2,100	1,260	1,290	2,100	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲1,200	▲2,040	▲2,010	▲1,200	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	3,300	2,100	1,260	1,290	2,100	
	B. 執行済額	1,080	1,710	930	960	60	
	うち交付金充当額	864	1,368	744	768	48	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	32.7%	81.4%	73.8%	74.4%	2.9%	
予算の状況の説明	補助対象事業者の運航自粛による利用期間縮小から1,650千円減額した。最終的にはヘリコプターチャーター回数がさらに減となったため1,590千円の不用が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	定期船欠航時及び予定運航時刻変更時のヘリコプターチャーター運賃の支援	目標	( 110回 )	( 110回 )	( 110回 )	( 110回 )	
		実績	57回	31回	43回	2回	
		目標	(            )	(            )	(            )	(            )	
実績							
達成状況説明	補助対象事業者の運航自粛のため事業期間が半減し、ヘリコプターチャーター利用回数が大幅減となり目標を下回る結果となった。(運航自粛期間:平成30年6月8日～平成30年11月20日迄(166日))						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上を)含めアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	目標	( 80% )	( 80% )			(            )
		実績		100%			
		目標	(            )	(            )	(            )	(            )	(            )
実績							
進捗状況説明	補助対象事業者の運航自粛(墜落事故の影響)により利用者が大幅に減少したが、アンケート調査では利便性を確保出来ているという結果が出た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者へのアンケート調査の結果、ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民及び観光客の交通手段の利便性の確保ができたが、今年度は利用回数が大幅に少なかった。	村民並びに観光客に対し更なる周知を行い、利用者及び運行回数の増に繋げる。
今後の取り組み方針		
各交通機関への周知協力や、村ホームページ等での周知を行う。また、アンケート調査を継続し、利便性の確保の確認や当該事業のあり方を検証する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
60	60	48	12	0
<pre> graph LR     A[渡嘉敷村 60千円] --&gt; B[補助金 60千円]     B --&gt; C[エクセル航空(株) 60千円]     C --- D[運航経費の半額 60,000円]   </pre>				

資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、エクセル航空(株)の1社のみが事業者として参入しているため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、これまでの船舶欠航実績等により算出しているため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、事業実績に基づき必要なものに限定されていると考える。

市町村名		渡嘉敷村				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-① 小学校学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ	
	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
担当部課名					Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、私立小学校に学習支援員を配置する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a)当初予算額	4,644	2,444	4,496	5,210
	(b)予算現額	4,644	2,392	3,100	3,287	4,351
	(c)増減額(b-a)	0	▲52	▲1,396	▲1,923	▲3,329
	(d)繰越額	—	0	0	0	0
	A.計(b+d)	4,644	2,392	3,100	3,287	4,351
	B.執行済額	1,431	2,309	2,643	2,526	4,245
	うち交付金充当額	1,144	1,847	2,114	2,021	3,396
	次年度繰越額	0			0	0
	執行率(%) (B/A)	30.8%	96.5%	85.3%	76.8%	97.6%
予算の状況の説明	学習支援員配置については、本事業と沖縄県の複式学級教育改善事業を活用して実施しているが、当初予算算定時においては、複式学級教育改善事業の補助が確定していないため、支出予定額全額を本事業にて計上している。事業決定後、複式学級教育改善事業補助額を減額している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	渡嘉敷小学校学習支援員2名配置	目標	( 1名 )	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )
		実績	1名	2名	2名	2名
	阿波連小学校学習支援員2名配置	目標	( 1名 )	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )
実績		1名	1名	1名	2名	
達成状況説明	本年度は目標としている渡嘉敷小学校へ2名、阿波連小学校へ2名の人員を配置することが出来た。学習支援員の配置により、複式学級である渡嘉敷小学校の3・4年、5・6年の算数と国語の授業や、他の支援を要する学級で授業を支援したことで、児童の学力向上や教職員の負担軽減が図られた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		沖縄県学力到達度調査において、県と本村のとの平均正答率の差+9.4ポイント以上		( 8.6 )	( 9.4 )	( )
		目標				
		実績		9.4	9.2	
		目標				
	実績					
進捗状況説明	目標値の沖縄県学力到達度調査における県と村との全体の平均正答率の差+9.4ポイントを若干下回り+9.2ポイントという結果となった。平成30年度の到達度調査の結果(平均正答率)は、小3国語(村68.4%、県68.5%)小3算数(村79.4%、県72.0%)、小4算数(村81.6%、県63.3%)、小5国語(村56.9%、県47.3%)、小5算数(村73.6%、県60.2%)、小5理科(村72.8%、県56.2%)小6算数(村79.2%、県61.2%)である。					

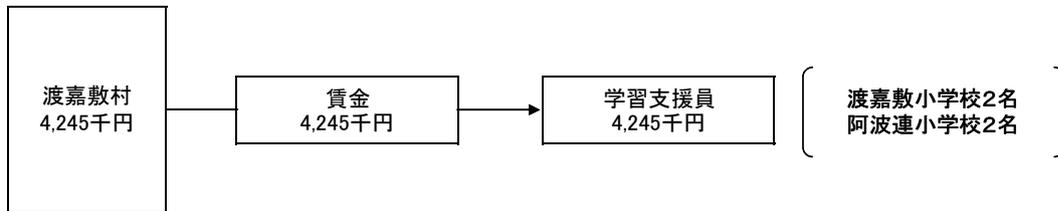
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・目標値には届かなかったが、県の平均正答率を上回っており、児童の学力向上が図られていると考える。</p>	<p>・本事業を実施することで、県平均を上回る実績となっているため、特段改善の必要はないものと考えらる。今後も継続して学習支援員を配置する。</p>

**今後の取り組み方針**

今年度は予定人員を確保できたが、本村の現状では今後不足する事態が想定される為、現在配置している支援員の継続意思の確認を行うとともに、積極的に情報を収集し学習支援員の確保に努め、当該事業を安定実施することで児童の学力向上を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,245	4,245	3,396	849	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・選定は有資格者、経験者を採用しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・有資格者の支援員の時給については、県の時給との均衡を考慮して設定している為、予算規模は適正であると考えらる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については、実績に基づいており適性であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会(県大会や全国大会等)に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,477	3,269	2,861	2,565	3,460
			2,477	3,269	2,861	1,397	1,807
			0	0	0	▲ 1,168	▲ 1,653
			-	0	0	0	
			2,477	3,269	2,861	1,397	1,807
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		1,910	2,220	2,317	1,221	1,555
			1,528	1,776	1,215	977	1,243
			0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	77.1%	67.9%	81.0%	87.4%	86.1%
	予算の状況の説明	台風の影響による派遣中止4件、及び参加人数の減等により額1,653千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	阿波連小学校児童派遣 4件	目標	(      )	(      )	(      )	( 4件 )	
		実績				3件	
	渡嘉敷小学校児童派遣 3件	目標	(      )	(      )	(      )	( 3件 )	
		実績				3件	
	渡嘉敷中学校生徒派遣 10件	目標	(      )	(      )	(      )	( 10件 )	
		実績				7件	
	【参考指標】 派遣児童生徒(累計)	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
		実績		173人	185人	159人	238人
達成状況説明	荒天による船舶の欠航により派遣を取りやめた大会があった。 離島小規模校の渡嘉敷小学校、阿波連小学校及び渡嘉敷中学校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験できない貴重な経験を積むことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	対象児童生徒の視野が広がったかどうか(80%)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		98%	90%	90%	
	進捗状況説明	保護者へのアンケート調査において、3校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校ではできない貴重な体験をすることができたと回答した割合は90%(37人/41人)であった。					

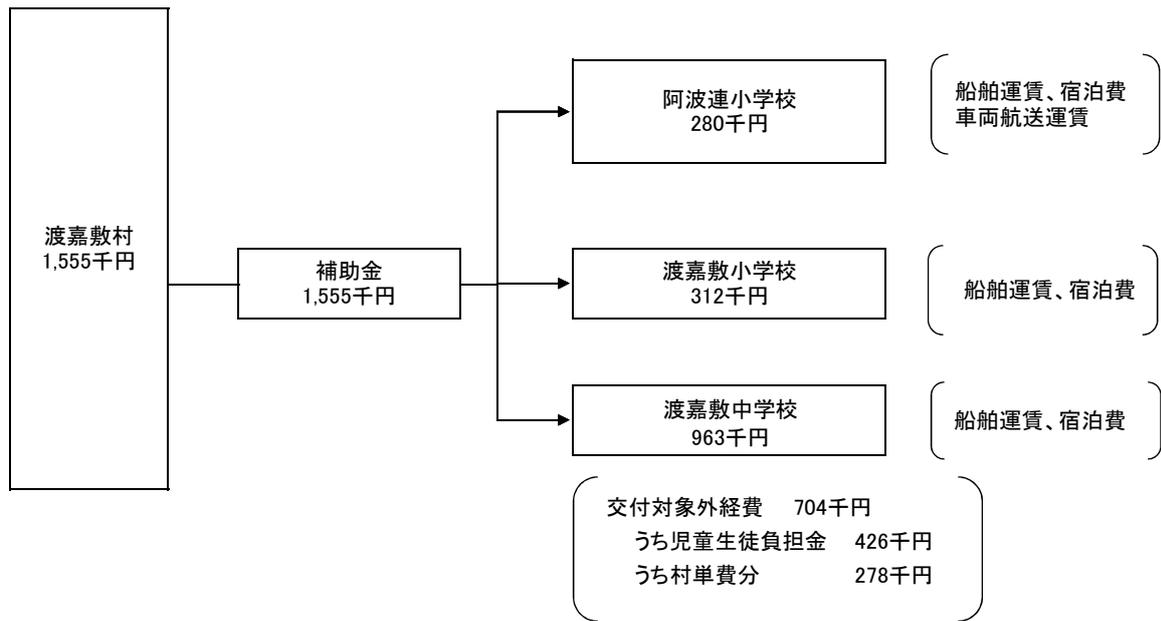
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・村外開催の大会や発表会等へ児童生徒を派遣することで、保護者の多くが村内ではできない貴重な体験をすることができたと考えていることから、アンケートは好結果となっている。</p>	<p>・児童生徒が村外の人と交流する機会や競争する機会を得、広い視野を持つことに寄与していると考えられることから、今後も事業を継続して実施する。</p>

**今後の取り組み方針**

・児童生徒が村内では経験できない体験をすることが出来る貴重な機会であるため、今後も継続していきたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,259	1,555	1,243	312	704



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各学校からの申請に対し補助を行っているため妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は適正な規模で確保されており、台風の影響もあったものの妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程により負担しており、妥当であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途については、真に必要なものか、額の確定時に支出等に関する書類により確認している為、適正であったと考える。

市町村名		渡嘉敷村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	家庭教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(イ)	
担当部課名	渡嘉敷村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	Web会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施することにより教育環境の格差の大きい離島地域において、村外・県外と同等レベルの教育を受けることができる環境を整備することで、学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	8,660	14,638	14,635		
	(b) 予算現額	4,863	7,976	8,243			
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,797	▲ 6,662	▲ 6,392			
	(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)	4,863	7,976	8,243			
	B. 執行済額	4,294	6,976	8,160			
	うち交付金充当額	3,435	5,580	6,502			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	88.3%	87.5%	98.9%			
予算の状況の説明		・実施期間の縮小及び開講クラス数・授業数の減により、6,392千円を減額した。 ・最終予算については概ね計画通り実施出来たが、台風や学校行事等による休講があった為、83千円が不用となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	小学校5年(国語・算数) 53授業 小学校6年(国語・算数) 54授業 中学校1年(数学・英語) 59授業 中学校2年(数学・英語) 36授業 中学校3年(数学・英語・国語) 100授業	目標	( 364授業 )	( 440授業 )	( 302授業 )	( )	
		実績	234授業	321授業	296授業		
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	今年度は302授業を予定していたが、受講希望者が少ない学年があった事や、学校行事や地域行事等への参加のため休講となることがあったため296授業の実施となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本村との平均点の差-11.7点以内とする。	目標	( )	( )	( -8.4点以内 )	( -11.7点以内 )	( )
		実績		-8.4点	-11.7点	-14.1点	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	・目標を全国と本村との平均点の差を-11.7点以内としたが、結果は-14.1点となり目標達成に至らなかった。 ・全国平均点を目標に取り組んだが、昨年度よりも差がひらく結果となってしまった。 ・小学部に関しては、成績が向上したが、中学部に関しては成績がやや下降した学年もあった。						



市町村名	渡嘉敷村						
<b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4	歴史文化資産保存活用事業					
担当部課名	渡嘉敷村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度 平成29～令和元年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり					
		III-3-(2)					
事業内容	修学旅行生や村民が学べる機会を増やすとともに、観光資源としての活用を図るため、沖縄戦史等の資料を整理・作成し、平和学習等に活用する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,525	6,588			
		(b) 予算現額	4,968	5,292			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,557	▲ 1,296			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	4,968	5,292			
		B. 執行済額	4,968	5,292			
		うち交付金充当額	3,974	4,233			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容は全て実施した。不用額が1,296千円発生しているが、入札残によるものであり、補正減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度		
	歴史文化資産概要把握実態調査	目標	( 50ヶ所 )	( )	( )	( )	
		実績	50ヶ所				
	聞き取り調査	目標	( 50件 )	( )	( )	( )	
		実績	39件				
	文化財遺跡等の実地調査	目標	( )	( 実施 )	( )	( )	
		実績		実施			
	沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査	目標	( )	( 実施 )	( )	( )	
		実績		実施			
達成説明状況	・「文化財遺跡等の実地調査」、「沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査」とともに実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	文化財遺跡等の実地調査	目標	( )	( 50ヶ所 )	( 50ヶ所 )	( )	( )
		実績		50ヶ所	50ヶ所		
	沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査	目標	( )	( 50件 )	( 50件 )	( )	( )
		実績		39件	14件		
	【R2成果目標】 ①資料を活用し、平和学習会等を実施した修学旅行学校数 3校 ②資料を活用した学習会への参加人数 50名	目標	( )	( )	( )	( )	( 3校 50名 )
		実績					
	進捗状況説明	・事業内容の見直しを行い調査件数を減らし事業を行ったが、変更申請をしなかったため目標値と実績値に大幅な乖離が生じている。 ・調査票カードの作成については「実地調査」は目標通り達成することができたが、「聞き取り調査」については目標値「30件」に対し調査依頼は46件行ったが、辞退等があり実際にお話を伺えた方は14件と目標値を大きく下回る結果となってしまった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(歴史文化資産概要把握実態調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や番地だけでは現場を確認できない場所、山間部で伐開が必要となる場所、海岸部からしかアプローチできない場所等がある。</li> </ul> <p>(聞き取り調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争体験という特殊な内容であること、高齢のため体調不良により辞退をされた方がいた。</li> </ul>	<p>(歴史文化資産概要把握実態調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財等の事前確認を行い、有効的な踏査方法について検討してから本調査に望む。</li> </ul> <p>(聞き取り調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプローチの仕方や調査方法、調査対象者の見直しを行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

(歴史文化資産概要把握実態調査)

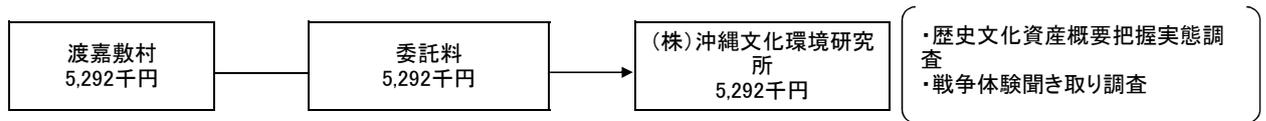
- ・今年度は集落周辺を中心に調査を実施したが、今後は山間部や海岸部などアプローチの難しい場所も想定されることから、事前確認等を行い有効かつ安全で確実な調査が実施できるように取り組む。

(聞き取り調査)

- ・調査依頼についても本人だけでなく、家族を対象にアプローチをすることや、調査時の時間や場所にも留意しながら対象者の方の心情を第一に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

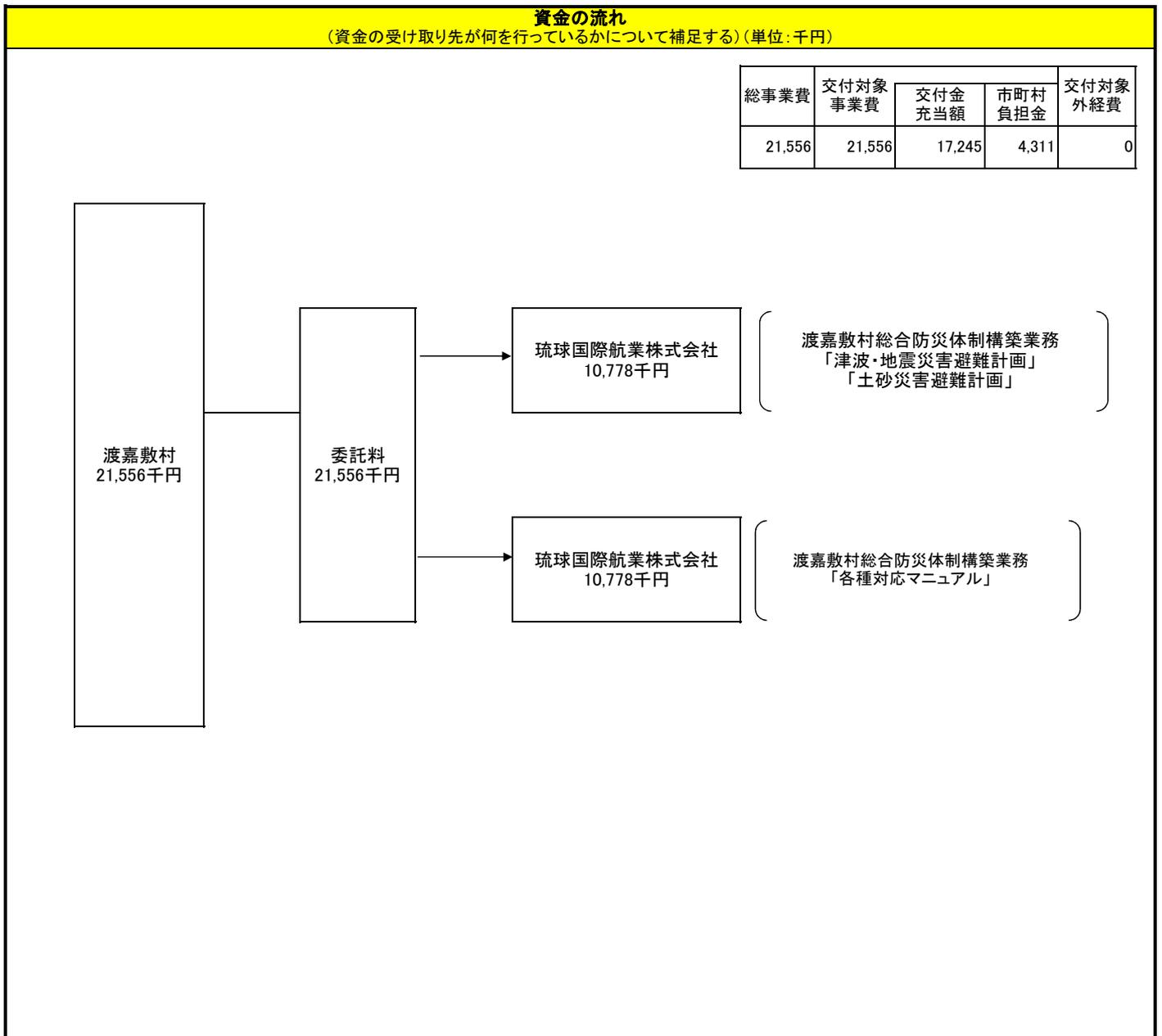
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,292	5,292	4,233	1,059	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算内で事業遂行できたので、適正な規模であったと考えている。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-①	渡嘉敷村総合防災体制構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	災害時において村民及び観光客等の安全性を確保するため、「地震・津波災害避難計画」「土砂災害避難計画」及び「各種対応マニュアル」を策定するとともに本村ホームページで公開している防災情報ポータルサイトの情報の精査を行う。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	25,941	11,329		
		(b)予算現額	25,552	22,517		
		(c)増減額(b-a)	▲389	11,188		
		(d)繰越額	-	-		
	A. 計(b+d)		25,552	22,517		
	B. 執行済額		25,552	21,556		
	うち交付金充当額		20,442	17,245		
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	95.7%		
予算の状況の説明		当初計画していた「地震・津波災害避難計画」「土砂災害避難計画」の策定業務に加え、令和元年度計画していた「各種対応マニュアル」の策定業務を前倒しで実施したため、11,188千円の増額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況			
			H30年度	R1年度		
	地震・津波災害避難計画の策定(避難指示の基準・地域の避難計画、避難所の整理)	目標	( 策定 )	( )	( )	( )
		実績	策定			
	土砂災害避難計画(発令準備・対象地域、避難所の整理)	目標	( 策定 )	( )	( )	( )
		実績	策定			
	各種対応マニュアル等の策定	目標	( 策定 )	( )	( )	( )
実績		策定				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地震・津波災害避難計画」「土砂災害避難計画」「各種対応マニュアル」については計画どおり完了した。</li> <li>また、令和元年度に事業実施を予定をしていた「各種対応マニュアル等の策定」を前倒しし平成30年度に実施し、策定完了した。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
	地震・津波災害避難計画の策定	目標	( )	( 策定完了 )	( )	( )
		実績		策定完了		
	土砂災害避難計画の策定	目標	( )	( 策定完了 )	( )	( )
		実績		策定完了		
	防災情報ポータルサイトへ関連情報の公開	目標	( )	( 公開完了 )	( )	( )
		実績		公開完了		
	各種対応マニュアル等の策定	目標	( )	( 策定完了 )	( )	( )
		実績		策定完了		
	【R1成果目標】 観光客等が参加する避難訓練時において、津波・土砂災害避難計画や公開された防災情報を活用することで、安全性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。		目標	( )	( )	( )
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地震・津波災害避難計画」「土砂災害避難計画」「各種対応マニュアル」については計画どおり完了した。</li> <li>防災情報ポータルサイトへ関連情報の公開については、平成29年度に構築を行った防災情報ポータルサイトの情報と「地震・津波災害避難計画」「土砂災害避難計画」策定の際に調査した各被害想定箇所の精査を行った。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地震・津波災害避難計画」、「土砂災害避難計画」等を策定し、住民及び観光客の災害時の安全性の確保が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に災害が発生した際に住民・観光客等が、安全に避難行動がとれるよう日頃から防災に対する意識向上を図る。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時の情報収集を、災害時の意思決定や行動に活かせるように、避難場所や避難ルート、危険箇所等の情報を、ポータルサイト活用方法と併せて情報発信を強化する。</li> <li>・住民等に防災情報ポータルを認知してもらい、活用方法を習得してもらうため、当該サイトを活用した避難訓練の実施を検討する。また、ポータルサイトの充実を図るため、引き続き防災関連情報の追加・更新を進める。</li> </ul>		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29~30年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本事業は3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の高校生及びアジア諸国の高校生が参加し、3市村の歴史や文化、豊かな自然など地域資源に恵まれた環境の中で、2週間共に生活しながら地域の魅力、地域の課題等に取り組むとともに、アジア各国の多種多様な文化について学ぶことによりグローバルな人材の育成並びに、本事業を通じた深い交流を経て、国際交流ネットワークの形成を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度				
		(a) 当初予算額	10,000	10,000				
		(b) 予算現額	10,000	10,000				
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-					
	A. 計(b+d)		10,000	10,000	0	0	0	0
	B. 執行済額		9,775	9,935				
	うち交付金充当額		7,819	7,947				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		97.8%	99.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初予定していた事業内容は全て実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度				
	研修プログラムの実施(約2週間)	目標	( 研修実施 )	( 研修実施 )	(      )	(      )		
		実績	研修実施	研修実施				
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )		
実績								
達成状況説明	<p>・2018年8月1日~8月15日までの14日間の研修プログラムを実施した。</p> <p>・今年度は、インバウンド対応を強化するための人材育成を目標に、県内15名(南城市13名、伊江村2名、渡嘉敷村0名)、アジアからはカンボジア王国、中華人民共和国、香港、インド共和国、インドネシア共和国、大韓民国、ラオス人民民主共和国、フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国、から計22名の高校生を招聘することができた。2週間のプログラム期間中に、持続可能な観光(南城市)、漂着ゴミ問題(渡嘉敷村)第一次産業(伊江村)、地域の魅力(3市村)を学んだことにより、目標としていた参加学生の人材育成およびネットワークの形成が図られた事業である。</p>							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	(      )	( 80 )	(      )	(      )	(      )	
		実績		93%				
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
		実績						
進捗状況説明	<p>本事業終了後のアンケートにて、成果目標である「参加学生の国際的な視野が広がったか」という質問に対しても保護者(第三者)の意見として「そう思う」と答えた方が93%であった。国際的な視野が広がることで、インバウンド対応に必要な不可欠な異文化理解能力が高まり、今後のインバウンド対応を行う人材として活躍することが期待される。また、「プログラムを通して3市村の地域の良さを理解し周りへも地域の良さを伝えたいと思いますか。」という質問に対して参加学生からは「とてもそう思う」、「そう思う」と答えた方は97%だった。このことから、3市村の地域の魅力を理解し参加した学生の国・地域で3市村の魅力を発信していくことが期待される。</p>							

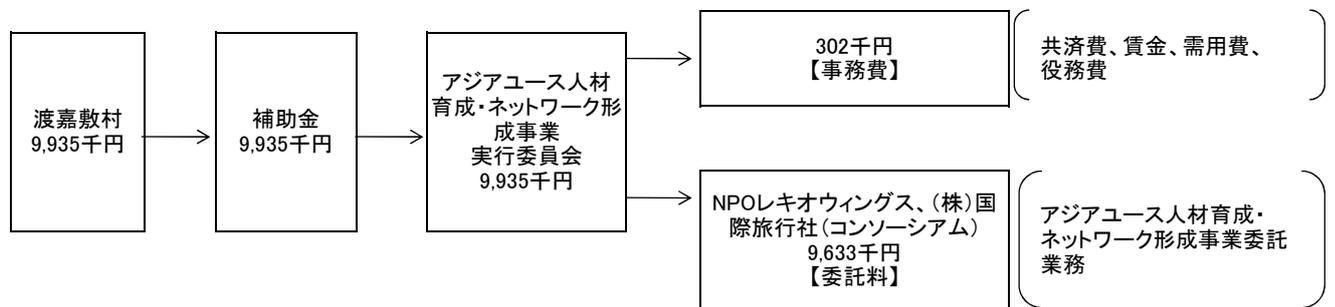
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本事業では、慣れない環境で2週間をともに過ごすことから、参加学生の健康面および心理面のサポートに留意する必要がある。実施期間中は、カウンセラーや看護師が帯同することにより、参加学生の安心感に繋がるよう学習に集中することができる環境を整えるよう努めた。</p> <p>加えて、多様な食文化に対応できる施設や異文化を理解し努力する人材も必要である。今回は、ヴィーガンの学生が参加していたが、料理の提供を行えない時があり、参加学生の受け入れにも細かい配慮が必要だと感じた。</p>	<p>3市村の地域の魅力や地域課題については深く学ぶことができたが、国際的な視野を広げるという点では地球規模で考え、足下から行動するGlobalizationやESD教育という観点を取り入れるべきだったと考える。</p> <p>また、評価方法として第三者委員会を立ち上げるなど専門的な知識を持った人から教育的観点で評価していただく必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

インバウンドに対応できる人材育成という観点から、共通言語が英語で高い英語力が求められていることや、本村のように小規模離島村で参加対象の学生が少ない地域においては、参加学生の確保が厳しい状況にあることから、今後は、本事業で得た経験をもとに地域の子供たちが参加しやすい人材育成事業の創出に向けて取り組んでいく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,935	9,935	7,947	1,988	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○業務委託差秋については、公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○当初計画していた事業内容は全て実施しており、適正であった。</p> <p>○費用、使途については生産段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	